人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

第746回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年12月 9日(金)19:00
12月10日(土)14:00

2022
12
DEC

日本フィルハーモニー交響楽団

©山口 敦

CONTENTS
目 次

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 等松 春夫 - 8
- 歌詞対訳 12
- 第30回(2022年度)渡邉曉雄音楽基金 音楽賞・特別賞 受賞者発表 14
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 17
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 21
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 22
- パトロネージュご芳名 26
- 2023年春季セット券 28
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 29
- 春季 東京／横浜定期演奏会 30
- 次回東京定期演奏会 32
- インフォメーション 34
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 35

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 746th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第746回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall	2022年12月9日(金)午後7時開演 ／ 10日(土)午後2時開演
	7:00p.m. 9th (Fri.) & 2:00p.m. 10th (Sat.), December 2022

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**　助成：公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**

協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア
表紙イラスト ／ 小澤 一雄

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク(不織布など効果の確かなもの)を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。(ホール内は飲食禁止です)
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

フィンジ：**入祭唱 op.6**　約8分
Gerald FINZI: Introit, op.6

タネジ：**3人の叫ぶ教皇**　約15分
Mark-Anthony TURNAGE: Three Screaming Popes

フィンジ：**武器よさらば op.9***　約10分
Gerald FINZI: "Farewell to Arms" op. 9

なお前半の3曲は、指揮者の意向により連続して演奏されます

休憩(15分) Intermission

ヴォーン・ウィリアムズ：**交響曲第6番 ホ短調**　約31分
Ralph VAUGHAN WILLIAMS: Symphony No.6 in E-minor

指揮：**下野 竜也**
Conductor: SHIMONO Tatsuya

テノール：**糸賀 修平***
Tenor: ITOGA Shuhei

コンサートマスター：扇谷 泰朋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也[日本フィル・ソロ・チェロ]
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を

■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

©Naoya Yamaguchi

Conductor 指揮

下野 竜也

SHIMONO Tatsuya

広島交響楽団音楽総監督。

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、（故）朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。

2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブールフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコ・フィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響、バルセロナ響など次々と客演を重ねている。

読売日本交響楽団の初代正指揮者（2006年11月～2013年3月）を経て、同団首席客演指揮者（2013年4月～2017年3月）として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月から2020年3月までは、同団常任首席客演指揮者として活躍した。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。

これまでに、2002年出光音楽賞、渡邉曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ
http://www.tatsuyashimono.com/

Tenor テノール

糸賀 修平

ITOGA Shuhei

島根県仁多郡奥出雲町出身。武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び、新国立劇場オペラ研修所第10期修了。2010年、文化庁在外研修員としてイタリア・フィレンツェにて学び、その後2012年からはローム・ミュージック・ファンデーションの音楽在外研究生としてドイツ・ベルリンにて研鑽を積む。第1回エンツォ・ソルデッロ国際コンクールで入賞し、ロッシーニ《セビリアの理髪師》よりアルマヴィーヴァ伯爵役を獲得。イタリア・クーネオにおけるCultura del Mondo festivalにて同役を演じた。国内オペラでは、二期会《ダナエの愛》(指揮：準・メルクル、演出：深作健太)メルクール、《こうもり》(指揮：阪 哲朗、演出：アンドレアス・ホモキ)アルフレード、ロームシアター京都柿落とし公演《フィデリオ》（指揮：下野竜也、演出：三浦基）ヤッキーノ、あいちトリエンナーレ《魔笛》(指揮：ガエタノ・デスピノーサ、演出：勅使川原三郎)タミーノ、C.ミョンフン指揮《蝶々夫人》ゴロー、藤原歌劇団《ランスへの旅》(指揮：園田隆一郎、演出：松本重孝)騎士ベルフィオーレの他、新国立劇場でも《フィガロの結婚》ドン・クルツィオ、《ファルスタッフ》バルドルフォ、《蝶々夫人》ゴロー等で出演、2012/2013年の同劇場オープニング作品、ブリテン作曲《ピーター・グライムズ》では、急遽カヴァーキャストからボブ・ボウルズ役の代役を務め、好評を博した。近年ではオペラ夏の祭典（指揮：大野和士、演出：アレックス・オリエ）及び東京・春・音楽祭2022〈東京春祭プッチーニ・シリーズ vol.3〉《トゥーランドット》ポン等、話題の公演にも多数出演している。またコンサートにおいても、サントリーホール「ジルヴェスター・コンサート2017-2018」、第33回「国技館5000人の第九」をはじめ、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのコンサートソリストとしても活躍している。地域創造公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）登録アーティスト。二期会会員。

プログラム・ノート 解説：等松 春夫

「3人の英国人作曲家による《戦争レクイエム》」。今回のプログラムにタイトルを付ければ、このようになるだろうか。ヴォーン・ウィリアムズが第2次世界大戦直後に世に問うた交響曲第6番、大戦中に初演されたフィンジの《武器よさらば》は「戦争と平和」を反映した作品と考えられてきた。いっぽう、抽象的な現代絵画にインスピレーションを得たタネジの《3人の叫ぶ教皇》は、人間の内面にある怒りと不安と焦燥を抉り出す。

フィンジの《入祭唱》を冒頭に置くのはキリスト教のミサを思わせ、前半の3曲は切れ目なく演奏される。隠れた名作・問題作を果敢に取り上げて来た下野竜也氏らしい、考え抜かれた選曲と構成である。コロナ禍と紛争で不安が蔓延する今、この試みを現在の聴衆はどう受けとめるだろうか。

◆ フィンジ：入祭唱 op.6

英国人の理想の生活が「田園紳士」（Country Gentleman）であるとすれば、ジェラルド・フィンジ（1901-1956）こそ、その典型であった。希少種のリンゴの保護栽培と、英詩を中心とした古書の蒐集家としても知られた。ロンドン生まれだが、中年以降はイングランド南部ハンプシャーの田園に移り住み、悠々自適のペースで作品を書き続けた。寡作だが、いくつかの合唱作品、歌曲、クラリネット協奏曲、チェロ協奏曲が知られている。未完に終わったヴァイオリン協奏曲とピアノ協奏曲を書く試みからは、今回演奏される《入祭唱》や《エクローグ》のような魅力的な小品が生まれた。

フィンジは上述のヴァイオリン協奏曲をいったんは完成し、1928年に親交のあったヴォーン・ウィリアムズの指揮で初演された。しかし作品の出来に満足できなかったフィンジは協奏曲の第2楽章を仕立て直し、《入祭唱》という名称で発表した。各1本の木管、2本のクラリネット、ホルン以外の金管を欠く小規模なオーケストラと独奏ヴァイオリンのための小品である。

歩むような弦楽器群の上で独奏ヴァイオリンが歌い続け、管楽器が入れ替わり立ち替わり唱和する。か細い声のようなヴァイオリン・ソロに続くフルートの短い独奏、ホルン、クラリネット、オーボエのつぶやきを経て静謐のうちに終わる。

楽器編成：独奏ヴァイオリン、フルート、オーボエ、イングリッシュ・ホルン、クラリネット2、ファゴット、ホルン2、弦楽5部。

◆ タネジ：3人の叫ぶ教皇

今年62歳のマーク＝アンソニー・タネジ（1960〜）は現在の英国作曲界の重鎮のひとりである。28歳で発表した歌劇《グリーク》で認められ、指揮者サイモン・ラトルとバーミンガム市交響楽団との緊密なコラボから1980年代末以降に多くの作品が生まれた。《3人の叫ぶ教皇》もその産物である。

この作品はアイルランド出身の画家フランシス・ベーコン（1909-92）が描いた作品群にインスピレーションを得て1988年から89年にかけて書かれた。ベーコンは黄金世紀スペインの画家ディエゴ・ベラスケス（1599-1660）の肖像画「教皇インノケンティウス10世」に、ソ連の映画監督セルゲイ・エイゼンシュテイン（1898-1948）の古典的映画『戦艦ポチョムキン』で官憲に弾圧されて顔から血を流す女性のイメージを重ねて、デフォルメされたローマ教皇の肖像画を多く描いた。ベーコンは「特定の事件や物語を描いたのではない」と語っているが、絵を見る者は人間が抱える恐怖、懐疑、焦燥、怒りを感じるであろう。

鐘の反響のようなフレーズから曲は始まり、不穏なメロディーを奏でる木管楽器と金管楽器の応酬が続く。変拍子の中で打楽器のリズムが激しさを増し、ミニマル・ミュージック的な音形やリズムが舞踏のように反復される。グロッケンシュピールやハープの響きでかすかに光が射しこむのも束の間、再び魑魅魍魎の跋扈する舞踏となる。やがて音楽は疲労困憊し、時折絶叫が起こる。まもなくパチンという音と共に、あたかも電源が落ちるように曲は唐突に終わる。

楽器編成：フルート3（ピッコロ持替3、アルト・フルート持替3）、オーボエ3（イングリッシュ・ホルン持替3）、クラリネット3（Es管クラリネット持替1、バス・クラリネット持替3）、サクソフォン2、ファゴット3（コントラ・ファゴット持替1）、ホルン6、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ユーフォニアム1、ティンパニ、ハンドベル、木魚、ラチェット、グロッケンシュピール、バウロン、スプラッシュ・シンバル、警笛、ムチ、ニップル・ゴング、ハイハット・シンバル、シロフォン、大太鼓、ログ・ドラム、アンティーク・シンバル、ヴィブラフォン、ティンバレス、銅鑼、大太鼓、ハープ1、電子ピアノ（ピアノ弾替）、チェレスタ、弦楽5部。

ディエゴ・ベラスケス『教皇インノケンティウス10世』
Rome, Doria Pamphilj Collection
© 2022 Amministrazione Doria Pamphilj s.r.l. All rights reserved

フランシス・ベーコン
『ベラスケスによるインノケンティウス10世の肖像画後の習作』
Purchased with funds from the Coffin Fine Arts Trust; Nathan Emory Coffin Collection of the Des Moines Art Center, 1980.1
Photo Credit: Rich Sanders, Des Moines, IA.

◆ フィンジ：武器よさらば op.9

テノール独唱と小オーケストラのための〈序〉と〈アリア〉の2曲から成る小品。歌詞は16〜17世紀イングランドの詩人ラルフ・ネヴェットとジョージ・ピールの詩から選ばれた。〈アリア〉は1936年2月に初演。9年の時を隔てて〈序〉が完成し、2曲が揃って初演されたのは、第2次世界大戦（1939-45）が最終段階に入った1945年3月であった。

フィンジは父と3人の兄を青少年期に相次いで失ったため、若くして強い無常観を抱くようになった。また、敬愛する恩師の作曲家アーネスト・ファーラー（1885-1918）も第1次世界大戦（1914-18）で若くして戦死したことは大きな衝撃であった。第2次世界大戦中は戦時交通省に勤め、ナチスを逃れてきたチェコやドイツの難民を自宅に受け入れている。そのためか《武器よさらば》は、アーネスト・ヘミングウェイ（1899-1961）の同名の小説のように反戦の意図をもって書かれたと思われがちである。しかし、ここでいう「武器よさらば」とは、「人生の終わりを正しく全うする」という意味であるとフィンジは語っている。

〈序〉はオーケストラの短い哀切な動機で始まる。テノールのレチタティーヴォに弦楽器の伴奏がぴったりと寄り添って進む。時折はさまれる管楽器の独奏的なパッセージが印象的である。〈アリア〉では低弦のピチカートが終始通奏低音のように続く。弦楽合奏の導入部に続き、テノールが、弦、フルート、オーボエと掛け合うように歌う。クラリネットのつぶやくような短い旋律で結ばれる。

楽器編成：独唱テノール、フルート2、オーボエ1、クラリネット2、ファゴット1、ホルン2、弦楽5部。

◆ ヴォーン・ウィリアムズ：交響曲第6番 ホ短調

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ（1872-1958／以下RVW）は今年生誕150年を迎えた。上流中産階級の名門に生まれ、チャールズ・ダーウィン（生物学者）やヴァージニア・ウルフ（作家）を親族に持つ文化的環境で育った。テューダー王朝時代の教会多声音楽、イングランド各地の民謡、英国の豊潤な文芸の伝統から多くのインスピレーションを得た。モーリス・ラヴェル（1875-1937）との交流から印象派の技法もマスターしている。良い意味での折衷的な作風がRVWの身上であった。シンフォニストとしては遅咲きで、9曲ある交響曲のうち5曲は70歳以降に完成させている。

RVWには本格的な戦場体験があった。第1次世界大戦では志願して英国陸軍の衛生兵となり、西部戦線で砲煙弾雨の下を駆けずり回り、傷病兵の救護に奮闘した。後半生に補聴器を手放せなくなったのは、戦場での激烈な砲爆撃の騒音で聴力を損なったためである。第2次世界大戦ではドイツ空軍の英国本土空襲の下で不安な日々を送った。

このような時代を生きたためか、第3番《田園交響曲》（1922）、第4番（1934）、第5番（1943）、第6番（1948）の交響曲には、さまざまな形で戦争体験が影を落としている。《田園交響曲》の第2楽章では戦場で聴いたビューグル（軍用ラッパ）を模した調べが奏でられる。第4番はドイツでナチスが政権を握りヨーロッパに再び暗雲が漂い始めた頃の作品で、不協和音が激しくぶつかり合う。第5番は第2次世界大戦中に初演されたにもかかわらず、すべての楽章が穏やかに終わる。しかし、続く第6番でRVWは再び第4番の世界に戻ったかに見える。この交響曲の最初の3つの楽章には激しい表現が多発するため、初演当時は第2次世界大戦と冷戦を意識した作品と評された。一方、先行する3つの楽章とは対照的に、終楽章は弱音に終始して消え入るように終わるので、核戦争で破滅した世界の「死と沈黙」を描いたものと受け取られた。RVWは「この曲に音楽以外のプログラムは存在しない」と語っているが、戦争の時代を反映した作品であることは間違いない。

3管編成に種々の打楽器、シロフォン、ハープ、テナー・サクソフォンが加わり、すべての楽章が切れ目なく演奏される。1948年4月21日、エイドリアン・ボールト（1889-1983）が指揮するBBC交響楽団によってロンドンで初演され衝撃を与えた。2年のうちに英国内外で100回以上演奏されたことが、作品に対する当時の関心の高さを物語っている。

第1楽章　アレグロ　ホ短調　自由なソナタ形式。なだれ落ちるような弦楽器と管楽器が第1主題をフォルテッシモで奏して開始される。ジャズのようなシンコペーション、抒情的な第2主題とせわしない展開が続く。コーダの直前で第2主題がハープを伴って穏やかに回想され、ほのかな希望が示唆される。

第2楽章　モデラート　変ロ短調　3音からなるリズム・モティーフを各セクションが受け渡しながら始まり、重々しいファンファーレ調のモティーフを金管が加える。イングリッシュ・ホルンのソロを経て終わる。

第3楽章　スケルツォ（アレグロ・ヴィヴァーチェ）　ヘ長調　フーガの性格を持つスケルツォ。荒天の海のような激しい音楽に、シロフォンがシニカルに響き、テナー・サクソフォンが不安げな旋律で加わる。RVWの舞踏仮面劇《ヨブ》の〈サタンの勝利の舞踏〉のような、邪悪なものの跳梁を思わせる。

第4楽章　エピローグ（モデラート）　ホ短調　楽器が参入する際は必ずsenza cresc.（クレッシェンドなしで）と楽譜に記され、ピアニシモに終始する異形の楽章。最後は嘆きと希望の入り混じったような旋律が奏され、ホルストの《惑星》の最終曲〈海王星〉や《エグドン・ヒース》と同様に消え入るように終わる。初演を聴いた音楽学者・評論家のデリック・クックはこの楽章を「血の凍るような究極のニヒリズム」と表現した。一方、RVWは終楽章について、シェイクスピアの戯曲『テンペスト』の一節「われらのささやかな人生は眠りのうちに幕を閉じる」が脳裏にあったと語っている。

楽器編成：フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、サクソフォン1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、シロフォン、ハープ1、弦楽5部。

下野 竜也×林田 直樹 対談

ヴォーン・ウィリアムズを語り合う

フィンジ、タネジを語り合う

歌詞対訳 ←――→ 訳：三ヶ尻 正（みかじり ただし）

Gerald Raphael Finzi: “A Farewell to Arms” op. 9

ジェラルド・ラファエル・フィンジ《武器よ、さらば》作品9

Introduction

The helmet now an hive for bees becomes,
And hilts of swords may serve for spiders’ looms;
Sharp pikes may make
Teeth for a rake;
And the keen blade, th’arch enemy of life,
Shall be degraded to a pruning knife.
The rustic spade
Which first was made
For honest agriculture, shall retake
Its primitive employment, and forsake
The rampires steep
And trenches deep.
Tame conies in our brazen guns shall breed,
Or gentle doves their young ones there shall feed.
In musket barrels
Mice shall raise quarrels
For their quarters. The ventriloquious drum,
Like lawyers in vacations, shall be dumb.
Now all recruits,
But those of fruits,
Shall be forgot; and th’unarmed soldier
Shall only boast of what he did whilere,
In chimneys’ ends
Among his friends.

――Ralph Knevet（1600-1671）

序

鉄兜は今や蜂たちの巣となり、
剣の柄（つか）は蜘蛛が巣を織り出すための機（はた）となり
槍の切っ先は
鍬（すき）の歯になる。
そして鋭い刃、命の宿敵である刀剣の刃は、
種をほじり出すナイフに格下げとなる。
創り出されたときには
地道な農作業のためのものだった
錆びたスコップは
元来の用途を取り戻し
険しい城壁や
深い塹壕のもとを去る。
人懐っこいウサギが我々の砲身の中で子を増やし
やさしい鳩が小さな幼鳥に餌をやる。
マスケット銃の銃身の中では
ネズミたちが矢じりを持ち上げて宿坊を作り、
腹話術の太鼓［訳注：音で威嚇する太鼓］は
休暇中の弁護士のように黙り込む。
いまやすべての新しいものの補充は
果物の補充を除けば忘れ去られ［訳注：もはや追加の徴兵はない］、
武装解除された兵士ができることといえば
煙突の下の片隅で
少し前にやっていたことを
仲間うちで自慢しあうことだけだ。

―詩：ラルフ・ネヴェット（1600-1671）

Aria

His golden locks time hath to silver turned;
O time too swift, O swiftness never ceasing.
His youth ‘gainst time and age hath ever spurned,
But spurned in vain; youth waneth by increasing:
Beauty, strength, youth, are flowers but fading seen;
Duty, faith, love, are roots and ever green.
His helmet now shall make a hive for bees,
And lovers’ sonnets turn to holy psalms:
A man-at-arms must now serve on his knees,
And feed on prayers, which are age’s alms:

But though from court to cottage he depart,
His saint is sure of his unspotted heart.

――George Peele（1556-1596）

アリア

彼の金髪を時間が銀に変えた［訳注：金髪も時を経て白髪となった］。
おお、あまりに素早い時間よ、おお、止まることのない素早さよ。
彼の若さは時間と齢（よわい）を何度も拒んだが
その抵抗は空しかった。若さは歳が増えることで逆にしぼむのだ。
美しさ、強さ、若さは、ただ見る見るうちに衰える花にすぎない。
責任、信頼、愛は、ずっと青々としている根だ。
鉄兜は今や蜂たちの巣となり、
恋人たちのソネットは聖なる賛美歌へと替わる。
武器を構えた男はいまや膝をついて礼拝し、
年齢に相応しい善行である祈りを、日ごとの食とせねばならない。
［訳注：祈りを口にするのが日々の務めとなる］

だが、たとえ宮廷からあばら屋に移っても
穢（けが）れない心があれば彼の守護聖人が見棄てることはない。

―詩：ジョージ・ピール（1556-1596）

2022年度

渡邉曉雄音楽基金 音楽賞・特別賞受賞者発表

音楽賞 太田 弦

©ai ueda

略 歴

94年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。

15年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏に師事。これまでに読売日本交響楽団、札幌交響楽団などを指揮。19年4月から22年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。23年4月から仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。

21年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲 第8（9）番 ハ長調 D944「ザ・グレイト」（新日本フィル公演ライブ収録）をリリース。

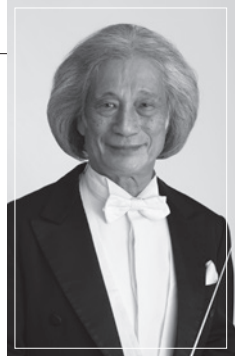
★★★ 授賞理由 ★★★

太田弦氏は、1994年札幌生れの28歳、東京藝大卒。2015年に東京国際音楽コンクールで第2位および聴衆賞を受賞、2022年3月までの3年間は大阪響の正指揮者のポストに在任しました。そして2023年4月には仙台フィルの指揮者への就任が、さらに2024年4月には九州交響楽団の首席指揮者への就任が決まっています。

太田氏の進境ぶりは目覚ましいものがあります。例えば新日本フィルを指揮した「ザ・グレイト」（2020年）では若々しい気魄の演奏が話題を集め、日本フィルとの「シェエラザード」（2021年）では主題の繰り返しに多彩な変化を持たせるという神経の行き届いた指揮が注目され、東京響とのモーツァルト（同）では全身をぶつけるような情熱的な表現が、また仙台フィルとの「ローマ3部作」（同）では音楽の容をがっちりと保ったまま揺るぎなく頂点を築いて行くという「持って行き方の巧さ」が見事でした。

このような太田氏の活躍は、次代の音楽界を担う優秀な指揮者として大きな期待を集めるに相応しいものがあります。よってここに公益信託渡邉曉雄音楽基金「音楽賞」を贈呈いたします。

特別賞 飯守 泰次郎



©武藤 章

略 歴

現在、仙台フィル常任指揮者、東京シティ・フィルおよび関西フィルの桂冠名誉指揮者を務める飯守泰次郎は、桐朋学園で学んだ後、ヨーロッパで研鑽を積み、マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任。90年代より国内での活動を再び活発化させ、名古屋フィル、東京シティ・フィル、関西フィル各常任指揮者、新国立劇場オペラ部門芸術監督を歴任。これまでに、2000年度第32回サントリー音楽賞、2004年11月紫綬褒章、2008年第43回大阪市市民表彰、2010年11月旭日小綬賞、2012年度日本芸術院賞、2014年度第56回毎日芸術賞などを受ける。また、2012年度の文化功労者に選ばれ、2014年12月には日本芸術院会員に選ばれた。

★★★ 授賞理由 ★★★

飯守泰次郎氏はこれまで名古屋フィル、東京シティ・フィル、関西フィルの常任指揮者や、新国立劇場オペラ部門芸術監督などを歴任、現在は仙台フィルの常任指揮者に在任中であり、そのほか国内各楽団への客演も数多いことは改めて言うまでもありません。

そして、氏の長年にわたる国内における音楽活動の中でも、オペラー特にワーグナーの舞台作品の上演に於ける業績の大きさは、はかり知れぬものがあります。例えば長大な「ニーベルングの指環」4部作の全曲上演を新国立劇場での舞台上演と東京シティ・フィルのセミ・ステージ形式上演で指揮、また日本人による国内初上演の「ワルキューレ」をはじめ各作品の上演においても数多く指揮を執っておられます。特に大作「パルジファル」を、関西二期会、東京シティ・フィル、東京二期会、新国立劇場の4つもの上演で指揮し大成功を収めるという偉業を成し遂げたのは、国内では飯守氏のみであります。

かようにわが国のワーグナー上演史に不滅の業績を重ねつつあることも含め、オーケストラ界における飯守泰次郎氏の多大な功績を讃えるため、ここに公益信託渡邉曉雄音楽基金「特別賞」を贈呈いたします。

「公益信託 渡邉曉雄音楽基金」について

日本指揮界の重鎮、故・渡邉曉雄先生の日本音楽文化に残した多大な業績を積極的な形で今後に引き継ぎ、我が国の音楽界の発展に寄与することを願い1992年6月22日に設定された。この公益信託は、信託設定の趣旨に基づき、「渡邉曉雄音楽基金音楽賞・特別賞」を設置して次代の音楽界を担う優秀な指揮者、およびオーケストラ界に貢献した関係者の顕彰を行い、もってわが国の音楽文化発展に寄与することを目的とする。

公益信託 渡邉曉雄音楽基金 運営委員会

運営委員長 田邉 稔 （公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 元理事長）
運営委員 岡山 尚幹（公益社団法人 日本オーケストラ連盟 顧問）
尾高 忠明（指揮者）
後藤 朋俊（公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 常務理事）
高関 健 （指揮者）
東条 碩夫（音楽評論家）
渡邉 康雄（ピアニスト）

「渡邉曉雄音楽基金 音楽賞・特別賞」 過去の受賞者一覧

第1回（1993年度）	音楽賞：大野 和士	特別賞：延命 千之助
第2回（1994年度）	音楽賞：広上 淳一	特別賞：村川 千秋
第3回（1995年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：小川 昂／鈴木 清三／田中 諄
第4回（1996年度）	音楽賞：高関 健	特別賞：該当者なし
第5回（1997年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：佐治 敬三
第6回（1998年度）	音楽賞：金 洪才	特別賞：石丸 寛
第7回（1999年度）	音楽賞：沼尻 竜典	特別賞：松原 千代繁
第8回（2000年度）	音楽賞：大友 直人	特別賞：長岡 實／江藤 俊哉
第9回（2001年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：該当者なし
第10回（2002年度）	音楽賞：下野 竜也／藤岡 幸夫	特別賞：上原 正二
第11回（2003年度）	音楽賞：佐渡 裕	特別賞：渡邊 正治／山本 直純
第12回（2004年度）	音楽賞：阪 哲朗	特別賞：三善 晃
第13回（2005年度）	音楽賞：飯森 範親	特別賞：草刈 津三
第14回（2006年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：大川内 弘／金山 茂人
第15回（2007年度）	音楽賞：上岡 敏之	特別賞：小野寺 昭爾／田副 正武／日本フィル九州公演連絡会議
第16回（2008年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：岩城 宏之
第17回（2009年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：ジャン・フルネ／財団法人アフィニス文化財団
第18回（2010年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：若杉 弘／日本近代音楽館
第19回（2011年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：小澤 征爾 特別支援：仙台フィルハーモニー管弦楽団
第20回（2012年度）	音楽賞：山田 和樹	特別賞：中藤 泰雄
第21回（2013年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：永田 穂
第22回（2014年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：児玉 幸治
第23回（2015年度）	音楽賞：川瀬 賢太郎	特別賞：ユベール・スダーン／秋山 和慶
第24回（2016年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：アレクサンドル・ラザレフ／池辺 晋一郎／井上 道義
第25回（2017年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：外山 雄三／堤 剛
第26回（2018年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：エリアフ・インバル
第27回（2019年度）	音楽賞：該当者なし	特別賞：本名 徹次／山田 正幸
第28回（2020年度）	音楽賞：沖澤 のどか	特別賞：豊田 泰久
第29回（2021年度）	音楽賞：鈴木 優人／原田 慶太楼	特別賞：該当者なし

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

世界にも類を見ない 市民とオーケストラによる音楽文化を作る共同プロジェクト

1975年にスタートし、約半世紀の長きにわたり途切れることなく継続されている日本フィルの九州公演。その最大の特徴は、すべての地域において市民の方々の自主的な参加による実行委員会で運営されていることです。聴き手、作り手の皆様と日本フィルは、手を携えて真に地域に根ざした文化の発信に取り組み続けています。

Topics1 大牟田市（おおむた）（福岡県）との協定締結 ～音楽を通した魅力あふれるまちに～（2022年8月）

2022年8月23日、日本フィルと大牟田市は「音楽を通した魅力あふれるまちづくり推進協定」を結びました。締結式では日本フィルメンバーによる記念演奏、さらに市内の中学生との交流会が設けられ、プロになったきっかけや楽器の奏法について子どもたちが楽団員に直接質問して親交を深めました。

日本フィルは今後大牟田市と連携して、文化芸術の振興・子ども達の育成・市民協働の推進の3つの取組を進めて行きます。心豊かに生活できるまちを目指す、オーケストラと自治体との協働にご期待ください。

写真提供：大牟田市

締結式にて 関市長らとともに

前列左からFl.齋藤、Ob.杉原、Cl.楠木、Fg.田吉、Hr.原川

Topics2 第48回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2023（2023年2月）

九州各地に熱い演奏を届け続けている九州公演は今回で48年目を迎えます。

指揮者は日本フィルと強く深い絆で結ばれている広上淳一。ソリストに注目の若手実力派の佐藤晴真（チェロ）、小林愛実（ピアノ）、また長崎公演は地元出身の山口修（ギター）を迎えます。各地で実行委員の皆さまとともに音楽文化を発信し続ける九州公演に今年もご期待ください。

©Masaaki Tomitori

指揮：広上 淳一
［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
チェロ：佐藤 晴真
ピアノ：小林 愛実
ギター：山口 修

©Tomoko Hidaki

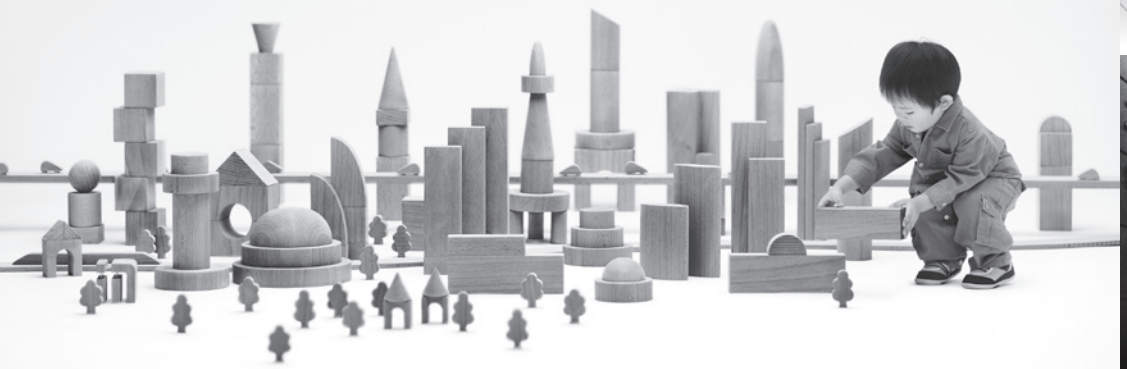
©Makoto Nakagawa

九州全県10公演

2/11（土・祝）	北九州ソレイユホール
2/12（日）	熊本県立劇場コンサートホール
2/14（火）	iichikoグランシアタ（大分）
2/15（水）	メディキット県民文化センター（宮崎）
2/17（金）	宝山ホール（鹿児島）
2/18（土）	アクロス福岡シンフォニーホール
2/19（日）	大牟田文化会館
2/21（火）	長崎市民会館
2/22（水）	相知交流文化センターサライホール（唐津）
2/23（木・祝）	佐賀市文化会館

詳細はこちらから
https://japanphil.or.jp/blog/kyushu

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

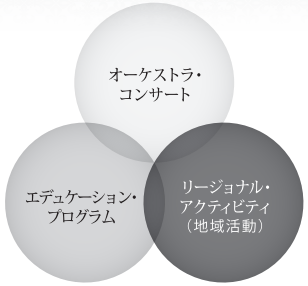
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）
特別会員　ABCシステム株式会社 代表取締役社長　児玉 光宏

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所 TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋 一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮 満
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉 一夫
昭和電工株式会社 代表取締役会長 森川 宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
株式会社杉江商店 代表取締役 杉江 寛
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大日本塗料株式会社 代表取締役社長 里 隆幸
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
DM三井製糖株式会社
株式会社ティーガイア 代表取締役社長 石田 將人
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
トヨタ自動車株式会社　代表取締役社長　豊田　章男
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO　奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
三井情報株式会社　代表取締役社長執行役員　浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
特別顧問　神田　晴夫
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
株式会社リガク　取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦

株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社LEOC　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2022年12月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
犬塚　静衛　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大熊美結紀　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県

大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多芚久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都

小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　和夫　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　敏生　神奈川県
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　千葉県
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
髙橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県

田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚仲　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
坪井　和音　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
羽田　洋子　神奈川県
濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都

原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
八代　元行　東京都
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都

山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
M.K.

匿名63名

（2022年11月15日現在
50音順・敬称略）

2023年 春季セット券

S席セット ¥13,000　A席セット ¥10,000　好評発売中

第245回 芸劇シリーズ　東京芸術劇場

2023年 3月18日（土）16:00 開演

ジャンルを超えたスタープレーヤー達と日本フィルがコンサートホールで豪華な"セッション"!!

指揮：鈴木 織衛
共演：Super Brass Stars（Tp エリック・ミヤシロ、Tb 中川 英二郎、Sax 本田 雅人）
トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ［ソロ・トランペット］

ガーシュウィン：キューバ序曲
グレインジャー編曲：アイルランド民謡《ロンドンデリーの歌》
ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より「だったん人の踊り」
チック・コリア（エリック・ミヤシロ編曲）：Spain
和泉宏隆（エリック・ミヤシロ編曲）：宝島
ホーギー・カーマイケル（Kotaro Nakagawa 編曲）：Stardust
エリック・ミヤシロ：Skydance
中川英二郎（Kotaro Nakagawa 編曲）：Into the sky

©SY0587 trim

©©RINZO-21

1回券料金	S ¥7,000　A ¥5,500　B ¥5,000　C ¥4,000 Gs（65歳以上）¥4,000　Ys（25歳以下）¥1,500	2022年 12月14日（水）発売

第400回 名曲コンサート　サントリーホール

2023年 5月21日（日）14:00 開演

ピエタリ・インキネン首席指揮者ファイナル公演

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］
ソプラノ：森谷真理　アルト：池田香織　テノール：宮里直樹　バリトン：大西宇宙
合唱：東京音楽大学
【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】
シベリウス：交響詩《タピオラ》　ベートーヴェン：交響曲第9 番《合唱》

©山口 敦

©タクミジュン

©井村 重人

©深谷 義宣auraY2

©Dario Acosta

1回券料金	S ¥9,000　A ¥7,500　B ¥7,000　C ¥6,000　P 合唱団席 Gs（65歳以上）¥6,000　Ys（25歳以下）¥3,500	2023年 2月3日（金）発売

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日11時-17時）

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単！

6月18日	東京定期演奏会	指揮：秋山 和慶　ピアノ：小川 典子	
ラヴェル：ピアノ協奏曲、《ダフニスとクロエ》第2組曲			
7月1日	さいたま定期演奏会	指揮：鈴木 優人　ピアノ：小林 愛実	
ショパン：ピアノ協奏曲　ベートーヴェン：《レオノーレ》序曲第3番 他			
7月2日	横浜定期演奏会	指揮：広上 淳一　ピアノ：福間 洸太朗	
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番、《田園》			
7月9日	東京定期演奏会	指揮：広上 淳一　ヴァイオリン：米元 響子	
ブルッフ：スコットランド幻想曲　ブルックナー：交響曲第7番			
9月3日	東京定期演奏会	指揮：山田 和樹　ヴァイオリン：田野倉 雅秋	
貴志康一：ヴァイオリン協奏曲　ウォルトン：交響曲第1番			
9月16日	さいたま定期演奏会	指揮：小林 研一郎　ピアノ：河村 尚子	
ブラームス：ピアノ協奏曲　チャイコフスキー：交響曲第4番			
10月2日	芸劇シリーズ	指揮：藤岡 幸夫　ピアノ：上原 彩子	［販売期間3ヵ月］
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番　ベートーヴェン：交響曲第7番			
10月22日	東京定期演奏会	指揮：ピエタリ・インキネン	
ベートーヴェン：交響曲第8番、第7番			
11月5日	芸劇シリーズ	指揮：小林 研一郎	
ドヴォルジャーク：交響曲第8番、第9番《新世界より》			
11月12日	さいたま定期	指揮：沼尻 竜典　ヴァイオリン：服部 百音	
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲　ブラームス：交響曲第4番			
11月18日	東京定期演奏会	指揮・オーボエ：フランソワ・ルルー	
ドヴォルジャーク：管楽セレナーデ*　ドヴォルジャーク：《伝説》より第1曲、第8曲、第3曲 モーツァルト：オーボエ協奏曲*　ビゼー：交響曲第1番			*吹き振り

TOKYO 東京

2022／2023シーズン
日本フィルハーモニー交響楽団
東京定期演奏会

会場／サントリーホール
金曜日／19:00開演　土曜日／14:00開演

◆ 春季 ◆

2023 3 March

【第748回】
3日(金)、**4**日(土)

指揮：**小林 研一郎**［桂冠名誉指揮者］　ピアノ：**金子 三勇士**
リスト：**ピアノ協奏曲第1番**
ベートーヴェン：**交響曲第3番《英雄》**

©山本 倫子　©Seiichi Saito

2023 4 April

【第749回】
28日(金)、**29**日(土)

指揮：**ピエタリ・インキネン**［首席指揮者］
ソプラノ：**ヨハンナ・ルサネン**
バリトン：**ヴィッレ・ルサネン**
男声合唱：**ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学**
シベリウス：**《クレルヴォ交響曲》**

©山口 敦

2023 5 May

【第750回】
12日(金)、**13**日(土)

指揮：**カーチュン・ウォン**［首席客演指揮者］
チェロ：**佐藤 晴真**
ミャスコフスキー：**交響曲第21番《交響幻想曲》**
芥川也寸志：**チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナート》**
ヤナーチェク：**シンフォニエッタ**

©Angie Kremer　©Tomoko Hidaki

2023 6 June

【第751回】
9日(金)、**10**日(土)

指揮：**アレクサンドル・ラザレフ**［桂冠指揮者兼芸術顧問］
ピアノ：**阪田 知樹**
プロコフィエフ：**ピアノ協奏曲第2番**
タネーエフ：**交響曲第4番**

©山口 敦　©HIDEKI NAMAI

2023 7 July

【第752回】
7日(金)、**8**日(土)

指揮：**広上 淳一**［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
カニオ：**笛田 博昭**　ネッダ：**竹多 倫子**　トニオ：**上江 隼人**　ベッペ：**小堀 勇介**
シルヴィオ：**池内 響**　合唱：**東京音楽大学**　児童合唱：**杉並児童合唱団**
レオンカヴァッロ：**歌劇《道化師》（演奏会形式）**

©Masaaki Tomitori　©深谷 義宣　©T.Tairadate

半季定期会員券（全5回）　好評発売中
【春季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥10,400（4月除く）　Ys席 ¥7,000

1回券　発売日【春季】2022年12月20日（火）
S席 ¥8,000　A席 ¥6,500　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　P席 ¥4,000　Ys席 ¥1,500

【お申込み・お問合わせ】日本フィル・サービスセンター
TEL：03-5378-5911［平日11時-17時］　eチケット♪：www.japanphil.or.jp

YOKOHAMA 横浜

2022／2023シーズン
日本フィルハーモニー交響楽団
横浜定期演奏会

会場／横浜みなとみらいホール
土曜日／17:00開演

◆ 春季 ◆

2023 3 March

【第385回】
11日(土)

指揮：**藤岡 幸夫**　サクソフォン：**須川 展也**
菅野祐悟：**サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》**
チャイコフスキー：**交響曲第4番**

©Shin Yamagishi

2023 4 April

【第386回】
22日(土)

指揮：**原田 慶太楼**　チェロ：**ジョヴァンニ・ソッリマ**
ドヴォルジャーク：**チェロ協奏曲 ロ短調 op.104 B.191**
吉松隆：**交響曲第6番《鳥と天使たち》**

©Shin Yamagishi

2023 5 May

【第387回】
20日(土)

指揮：**ピエタリ・インキネン**［首席指揮者］　ソプラノ：**森谷 真理**　アルト：**池田 香織**
テノール：**宮里 直樹**　バリトン：**大西 宇宙**　合唱：**東京音楽大学**
【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】
シベリウス：**交響詩《タピオラ》**　ベートーヴェン：**交響曲第9番《合唱》**

©山口 敦　©タクミジュン　©井村 重人　©深谷 義宣auraY2　©Dario Acosta

2023 6 June

【第388回】
3日(土)

指揮：**アレクサンドル・ラザレフ**［桂冠指揮者兼芸術顧問］
ピアノ：**小山 実稚恵**
プロコフィエフ：**ピアノ協奏曲第3番**
ショスタコーヴィチ：**交響曲第7番《レニングラード》**

©山口 敦　©Hideki Otsuka

2023 7 July

【第389回】
1日(土)

指揮：**川瀬 賢太郎**
ピアノ：**菊池 洋子**
モーツァルト：**歌劇《フィガロの結婚》**
モーツァルト：**ピアノ協奏曲第25番**
ストラヴィンスキー：**バレエ音楽《春の祭典》**

©Yoshinori Kurosawa　©Yuji Hori

半季定期会員券（全5回）　好評発売中
【春季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥13,000　Ys席 ¥7,000

1回券　発売日【春季】2022年12月20日（火）
5月以外　S席 ¥8,000　A席 ¥6,500　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　P席 ¥4,000　Ys席 ¥1,500
5月　S席 ¥9,000　A席 ¥7,500　B席 ¥7,000　C席 ¥6,000　P席 ¥5,000　Ys席 ¥3,500

NEXT CONCERTS
>> 次回東京定期演奏会

第747回

サントリーホール

2023年1月20日(金)19:00開演
21日(土)14:00開演「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:20〜

次期首席指揮者カーチュンと奏でる東洋と西洋のFolk Song

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

指揮者が語る次回東京定期演奏会

カーチュン・ウォン

1月20日と21日の新年最初となる東京定期演奏会では伊福部昭の「シンフォニア・タプカーラ」とバルトークの「管弦楽のための協奏曲」をより細かく掘り下げていきたいと考えています。

今年5月には才能溢れるピアニスト務川慧悟氏を迎え、伊福部昭の「ピアノと管絃楽のためのリトミカ・オスティナータ」をお聴きいただきましたが、その時以来私は、伊福部の音楽をさらに探求することに強い関心を持ち続けています。5月の演奏会に向けた初回のリハーサルで、日本フィルはまるで毎シーズンこの作品を弾いているかのような強烈で感動的な演奏をし、私はすっかり圧倒されました。ウィーン人が演奏するヨハン・シュトラウスやフィンランド人が演奏するシベリウスを思わせるような、伊福部昭の音楽への自然な理解とフレージングを感じました。

1月にお届けする「シンフォニア・タプカーラ」は「リトミカ・オスティナータ」よりも前に作曲され、1955年にファビエン・セヴィツキー指揮インディアナポリス交響楽団の演奏で初演されました。ちなみに、セヴィツキーはアメリカで活躍した名指揮者セルゲイ・クーセヴィツキーの甥であり、クーセヴィツキーは後にボストン交響楽団と共に次回東京定期演奏会のもう一つの作品となるバルトークの「管弦楽のための協奏曲」を初演しています。

「シンフォニア・タプカーラ」はアイヌの影響を強く受けています。私事になりますが、妻の母方の祖先がアイヌであることから、私は初めて「アイヌ」の名称や存在を知ることとなりました。この作品はとてもリズミカルであり、私が幼少時代にシンガポールで体験した様々なお祭りや文化的儀式を思い起こさせます。今後、日本以外の国でも、深い理解を持って伊福部の作品を演奏していきたいと考えています。

伊福部は、ストラヴィンスキー、レブエルタス、ハチャトゥリアン、ショスタコーヴィチの音楽と驚くほどよく合います。彼らの作品をプログラムに加えることも考えましたが、それと同時にバルトークの作品にも惹かれました。バルトークの卓越した作曲技術もさることながら、ハンガリーやスロバキア、ルーマニアの民族音楽との深いつながりは、伊福部の美学と揺るぎない並走を描いています。

伊福部もバルトークも、音楽的原始主義というスタイルで現代主義的な不協和音と民族主義的な要素が混ざり合った音楽を生み出しました。これらは私にとって非常に魅力的なものなので、これからも彼らの音楽を研究し続けたいと思っています。今回、日本フィルの素晴らしき仲間達と共に学び、サントリーホールにて皆様と貴重な音楽体験を共有出来ることに深い喜びを感じています。

さらに2023年1月は、私の大好きなベートーヴェンとラフマニノフの交響曲を含む魅力溢れるプログラムに3週間に渡って取り組む機会に恵まれたことに、今からとてもワクワクしています。

会場で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

1月その他の公演会情報

2023年1月14日(土)14:00開演 埼玉会館 2023年1月15日(日)14:00開演 サントリーホール	2023年1月28日(土)17:00開演 横浜みなとみらいホール 2023年1月29日(日)14:00開演 東京芸術劇場
ロドリーゴ:アランフェス協奏曲 (ギター:村治 佳織) ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》	ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番 (ピアノ:小菅 優) ラフマニノフ:交響曲第2番

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54〜23:00(第3週、第4週は再放送)。登場するのはピエタリ・インキネン&山田和樹。ぜひご覧ください!

■ もうすぐ発売

2022年12月20日(火)発売

- 2022/2023 春季東京定期演奏会 1回券
- 2022/2023 春季横浜定期演奏会 1回券

詳細はP30-31をご覧ください。

2022年12月14日(水)発売

第245回芸劇シリーズ

2023年3月18日(土)16:00開演
東京芸術劇場

『題名のない音楽会』でもおなじみのエリック・ミヤシロ・中川英二郎・本田雅人が結成したSuper Brass Stars&日本フィルが誇るトランペッター、オッタビアーノ・クリストーフォリによる魅惑のステージ

詳細はP28をご覧ください。

■ 本日の公演はカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のままで撮影をお願いいたします。

フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は林田直樹氏の登場です。**土曜日13:20〜**

■ 好評発売中

第399回名曲コンサート

2023年1月15日(日)14:00開演
サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
ギター:村治 佳織

ロドリーゴ:アランフェス協奏曲
ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》

第244回芸劇シリーズ

2023年1月29日(日)14:00開演
東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
ピアノ:小菅 優

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番
ラフマニノフ:交響曲第2番

2023年春季セット券

①第245回芸劇シリーズ
2023年3月18日(土)16:00開演
東京芸術劇場

②第400回名曲コンサート
2023年5月21日(日)14:00開演
サントリーホール

S席セット¥13,000 A席セット¥10,000

詳細はP28をご覧ください。

コバケン・ワールドVol.33

2023年3月26日(日)14:00開演
東京芸術劇場

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
チェロ:堤 剛

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》他

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

11月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)伊藤 知子、今村 滋、匿名8名

ご寄付の方法 ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日11 時〜17 時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者 渡邉 曉雄
桂冠名誉指揮者 小林 研一郎
名誉指揮者 ルカーチ・エルヴィン
名誉指揮者 ジェームズ・ロッホラン
客員首席指揮者 ネーメ・ヤルヴィ

首席指揮者 ピエタリ・インキネン
桂冠指揮者 兼 芸術顧問 アレクサンドル・ラザレフ
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問) 広上 淳一
首席客演指揮者 カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター:扇谷 泰朋
ソロ・コンサートマスター:木野 雅之
ソロ・コンサートマスター:田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター:千葉 清加
第1ヴァイオリン:太田 麻衣 九鬼 明子 齋藤 政和 榊 渚 竹歳 夏鈴 谷﨑 大起 田村 昭博 中谷 郁子 西村 優子 平井 幸子 本田 純一
第2ヴァイオリン:伊藤 太郎□ 遠藤 直子 大貫 聖子 岡田 紗弓 加藤 祐一 神尾あずさ○ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣 紗弓 豊田 早織 町田 匡 山田 千秋
ヴィオラ:安達 真理☆ 小俣 由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋 智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤 稚奈
ソロ・チェロ:菊地 知也
チェロ:石崎 美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤 哲弥 久保 公人 山田 智樹 横山 桂
コントラバス:鈴村 優介 髙山 智仁◎ 成澤 美紀 宮坂 典幸○ 山口 雅之
フルート:齋藤 光晴 難波 薫 真鍋 恵子◎
オーボエ:佐竹 真登 杉原由希子◎ 松岡 裕雅○
クラリネット:伊藤 寛隆◎ 楠木 慶○ 照沼 夢輝 堂面 宏起
ファゴット:大内 秀介 鈴木 一志◎ 田吉佑久子○ 中川日出鷹
ホルン:伊藤 舜 宇田 紀夫 信末 碩才◎ 原川翔太郎 丸山 勉☆ 村中 美菜
ソロ・トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット:大西 敏幸 中里 州宏 中務 朋子 星野 究
トロンボーン:伊藤 雄太 岸良 開城○
バス・トロンボーン:中根 幹太
テューバ:柳生 和大
ティンパニ:エリック・パケラ◎
パーカッション:大河原 渉
ハープ:松井 久子

楽団長:中根 幹太
チーフステージマネージャー:阿部 紋子
ステージスタッフ:長橋 健太 森田 大翔
チーフインスペクター:佐藤駿一郎
インスペクター:宇田 紀夫 鈴村 優介
ライブラリアン:鬼頭さやか 杉本 哲也

◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間

理事長(代表理事):平井 俊邦
副理事長(代表理事):五味 康昌
常務理事(代表理事):後藤 朋俊
常務理事(代表理事):中根 幹太
常務理事(代表理事):福井 英次
理事:石井啓一郎/遠藤 滋 佐々木経世/田村 浩章 戸所 邦弘/福本ともみ
監事:上條 貞夫/福澤 宏哉
評議員会会長:加藤 丈夫
評議員:青井 浩/安孫子 正 荒蒔康一郎/石塚 邦雄 石村 等/稲垣 尚 内川 清雄/大塚 宣夫 海堀 周造/梶浦 卓一 河北 博文/喜多 崇介 木村 惠司/久保田 隆 小林研一郎/島田 精一 津田 義久/西澤 豊 野間 省伸/葉田 順治 村上典吏子/山口多賀幸
名誉顧問:熊谷 直彦
名誉顧問:島田 晴雄
名誉顧問:田邊 稔
アドバイザリー・ボード:大島 剛/小野 敏夫 小網 忠明/後藤 茂 武田 隆男/田邊 稔 溝口 文雄
コミュニケーション・ディレクター:マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ:淺見 浩司/磯部 一史 江原 陽子/及川ひろか 小川紗智子/荻島 里帆 賀澤 美和/柏熊由紀子 小須田 萌/佐々木文雄 澤田 智夫/篠崎めぐみ 清水佑香子/杉山 綾子 杉山まどか/高橋 勇人 田中 正彦/槌谷 祐子 中村沙緒里/西田 大輔 長谷川珠子/馬場 桃子 藤田 千明/別府 一樹 益滿 行裕/宗澤 晶子 山岸 淳子/吉岡 浩子
シニア・パートナー:新井康允/伊波 睦 永島義郎/南部洋一

団友:
青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江 新井 豊治/石井啓一郎/伊藤 恒男 伊波 睦/遠藤 功/遠藤 剛史 大石 修/大川内 弘/大味 修 筧 美知子/金本 順子/蒲谷 隆行 川口 和宏/菊田 秋一/吉川 利幸 木村 正伸/小林 俊夫/小山 清 斎藤 千種/佐々木裕司/佐藤 玲子 菅原 光/髙木 裕子/髙木 雄司 高木 洋/高倉 理実/田沢 烈 立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代 豊田 尚生/中川 二朗/永田 健一 中務 幸彦/奈切 敏郎/橋本 洋 畑井紀代子/平賀 法子/福島 喜裕 松本 克巳/松本 伸二/三本 克郎 宮武 良平/三好 明子/森 茂 山下 進三/山科 淑子/山本 辰夫 渡辺 哲雄

(2022年11月30日現在)

チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911(通常:平日10時～17時／現在:平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
FAX.03-5378-6161(24時間)
E-MAIL : order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5
「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!